健康寿命の延伸に向けた
本市の健康課題と取組の方向性について

京都市の基本状況（平成29年）

総人口　1,472,027人（男性697,553人　女性774,474人）

高齢化率　27.5%（全国平均　27.7%）
ひとり暮らし高齢者世帯数　8万6千世帯（33.7%）

→ 2025年には
高齢化率　30%
ひとり暮らし高齢者世帯数　11万1千世帯
（28.6%増加）

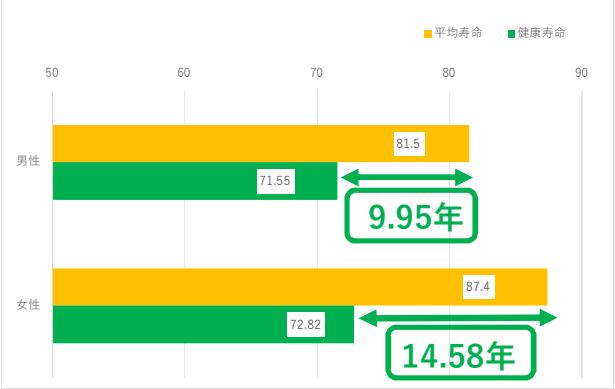
出生数　10,374人
出生率　7.0（全国平均　7.6）
合計特殊出生率　1.27（全国平均　1.43）

死亡数　14,340人
死亡率　9.7（全国平均　10.8）

- ◆出生数が減少傾向にあるなかで，長寿化が進んでいく。
- ◆世帯別では高齢者の単身世帯が増えていく。

健康寿命　（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）

平成28年　京都市



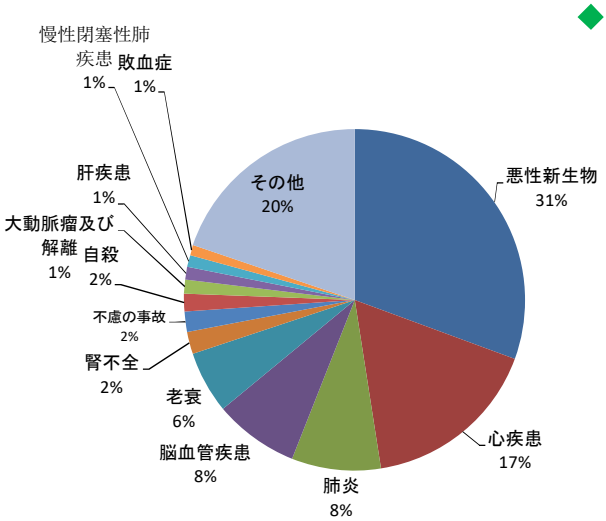
平均寿命と健康寿命の**差**

＝**日常生活に制限のある「不健康な期間」**

差の全国平均は，男性8.84年，女性12.35年

◆ 日常生活に制限のある「不健康な期間」は，全国平均と比べて，男女ともにやや長い。

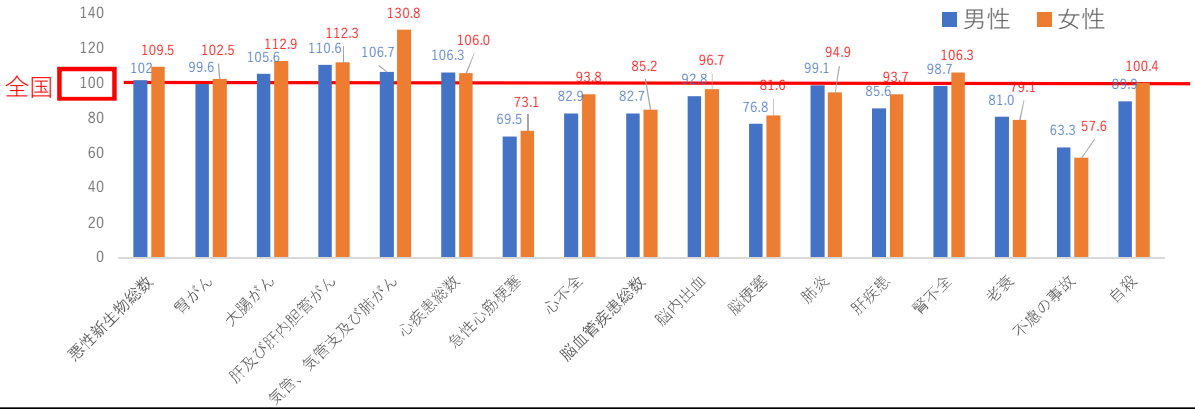
主な死因別死亡数の割合（平成２７年京都市）



◆ 悪性新生物・心疾患・脳血管疾患の３大生活習慣病による死亡が全体の半数以上を占めており，全国とほぼ同様である。

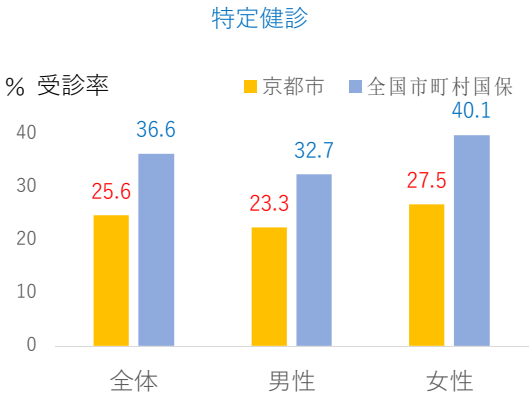
主な死因の標準化死亡比（平成２０年～２４年）

- ◆ 悪性新生物では，男女の大腸がん，肝及び肝内胆管，気管・気管支及び肺がん，女性の胃がんが高い。
- ◆ 急性心筋梗塞，心不全は低いが，心疾患総数では高い。
- ◆ 脳血管疾患は低い。

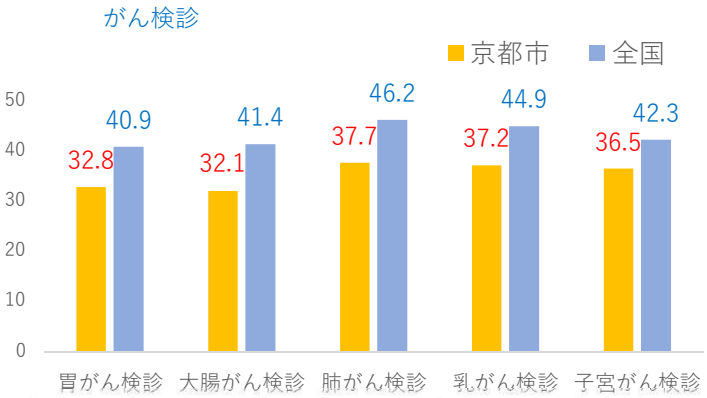


特定健診・がん検診の受診率

- ◆ 特定健診・がん検診の受診率は全国平均より低い。



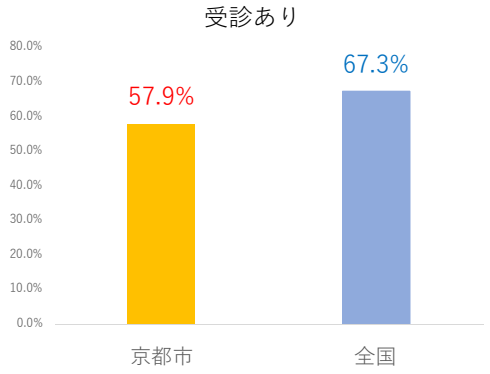
（平成28年度特定健診）

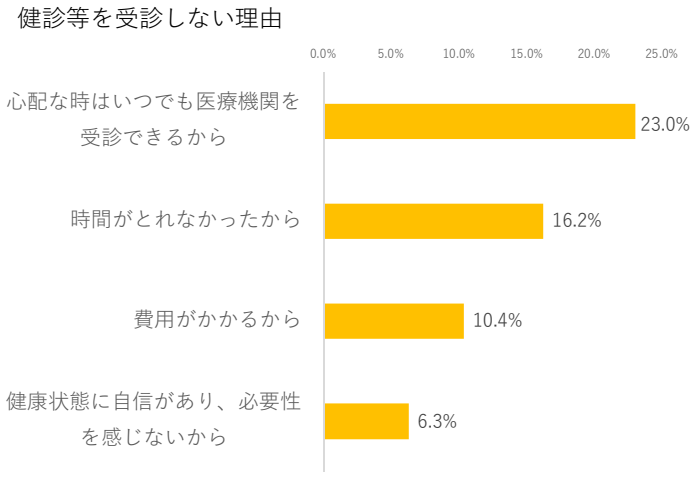


（平成28年度国民生活基礎調査40歳～69歳（子宮頸がん20歳～69歳））

過去１年間の健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診状況

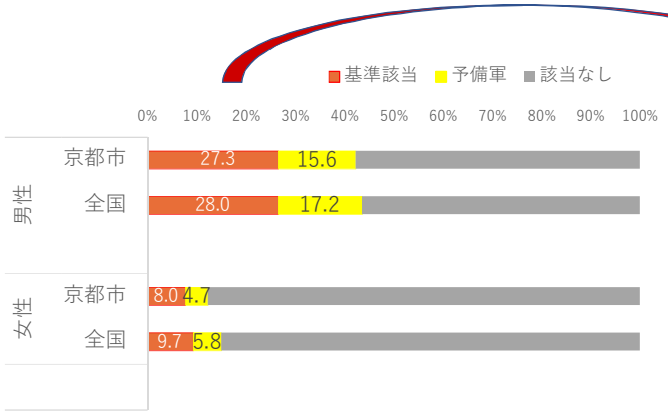
（平成２８年国民生活基礎調査）

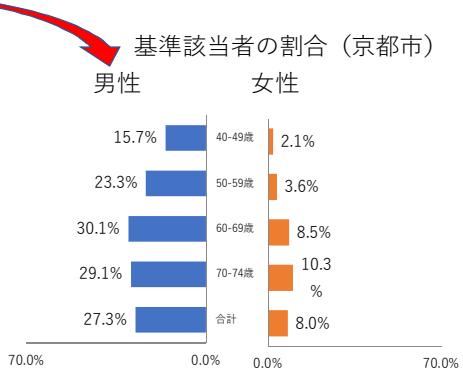




メタボリックシンドローム判定（性別）

（平成28年度特定健診）

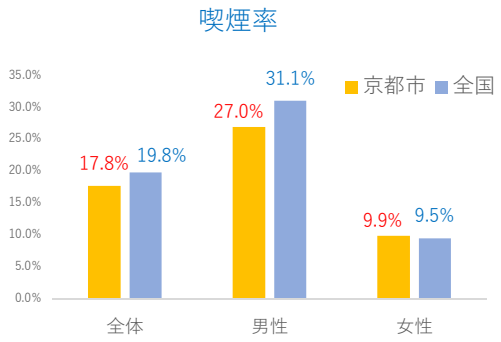


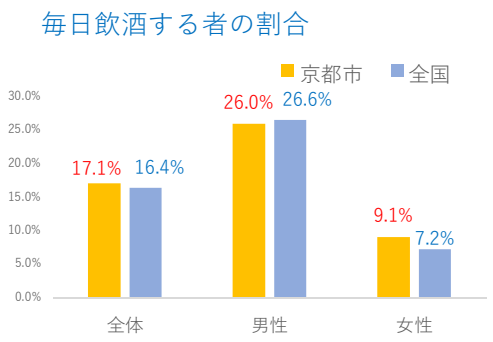


- ◆メタボリックシンドローム該当者は，男性では全国とほぼ同様，女性では全国よりも少ない。
- ◆男性では50歳以降にその割合が増加している。

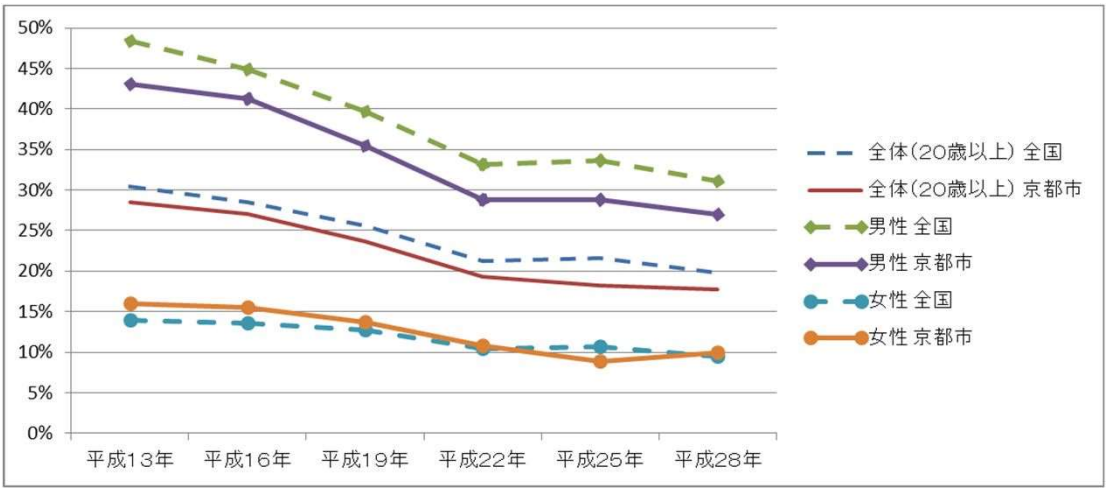
喫煙・飲酒の状況（平成28年国民生活基礎調査　20歳以上の京都市民について）

◆女性の喫煙率，毎日飲酒する者の割合が全国平均よりやや高い。





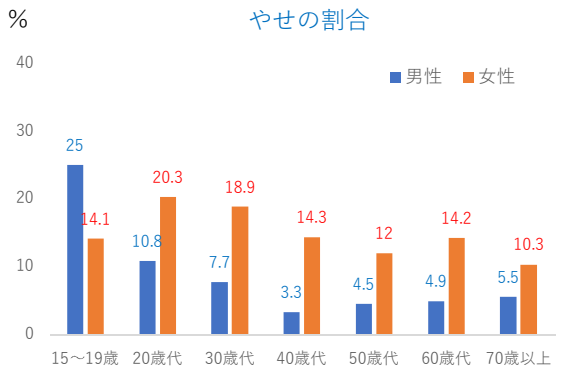
喫煙率（国民生活基礎調査）

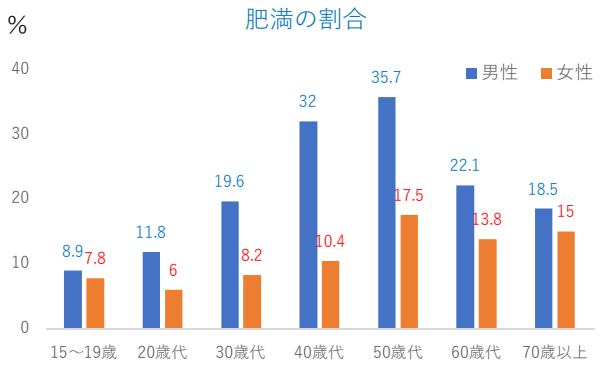


減少傾向にあるものの，17.8％は喫煙している。

肥満・やせの市民の割合（平成27年京都市食育に関する意識調査）

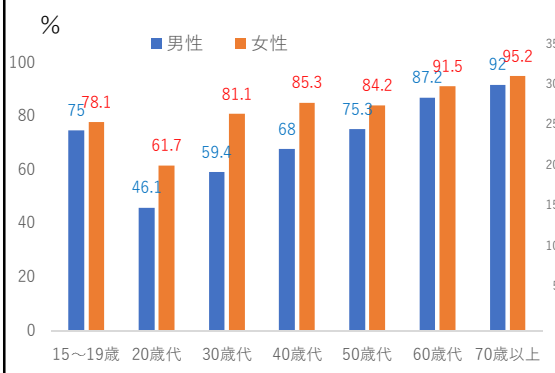
◆ 女性のやせの割合が２０歳代，３０歳代で高い。
◆ 男性の肥満の割合は３０歳代で増加しはじめ，４０歳代，５０歳代で高い。





朝食をほとんど毎日食べる割合
（平成27年年京都市食育に関する意識調査）

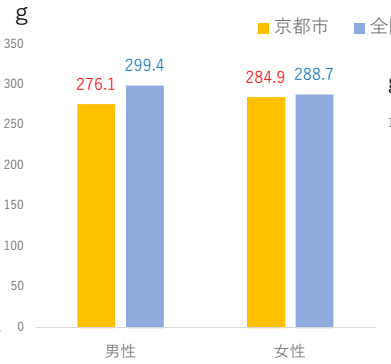
◆ 男女ともに20歳代で低い。



野菜の摂取量（参考値）
（国民健康・栄養調査　20歳以上）

目標値　350g

◆ 男女ともに目標値を下回っており，全国より少ない。

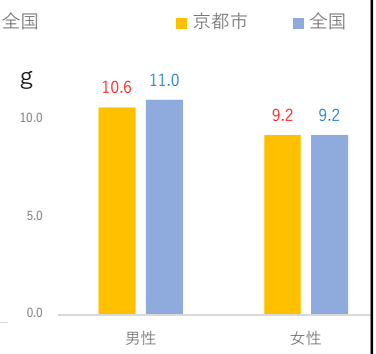


京都市：平成24～27年の4年平均値
全国：　平成27年

食塩の摂取量（参考値）
（国民健康・栄養調査　20歳以上）

目標値　男性8.0g　女性7.0g

◆ 男女ともに目標値を上回っている。

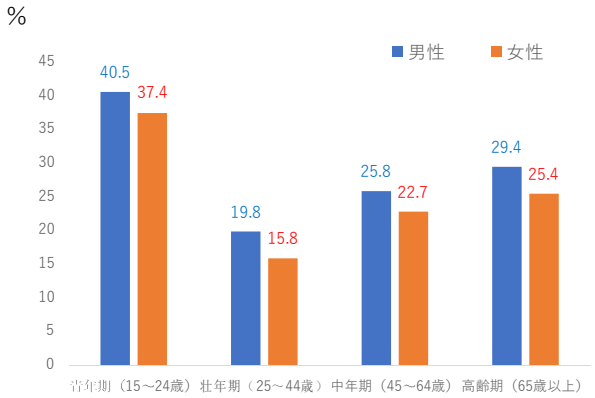


京都市：平成24～27年の4年平均値
全国：　平成27年

運動を定期的（週2回以上）に行っている割合

（平成29年京都市健康づくりに関する意識調査）

◆壮年期（25歳～44歳）で低い。

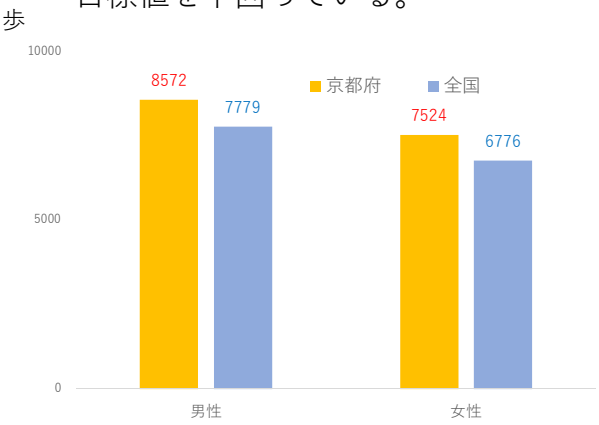


一日の歩数（京都府民）

（平成28年国民健康・栄養調査　20～64歳）

目標値　成人男性9,000歩　成人女性8,500歩

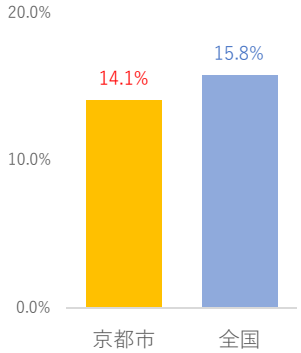
◆京都府民では全国より多いが，目標値を下回っている。



歯と口の健康の状況

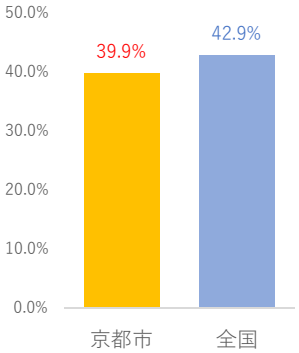
◆３歳児でむし歯のある市民の割合は全国値より少ない。
◆７０歳以上で２０歯以上の自分の歯を有する市民の割合は全国値を下回る。
◆過去１年間に歯科健診（治療を除く）を受けた市民の割合は全国値を下回る。

むし歯罹患率（３歳）



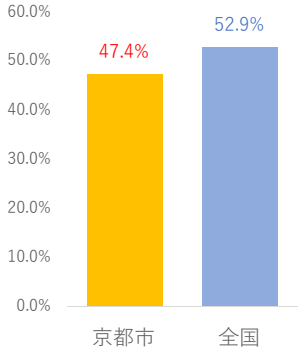
京都市：平成28年度３歳児健診
全　国：平成28年地域保健・健康増進事業報告

２０歯以上の自分の歯を有する市民の割合（７０歳以上）



京都市：平成28年度市政総合アンケート
全　国：平成28年国民健康・栄養調査

過去１年間に歯科健診を受けた市民の割合（２０歳以上）

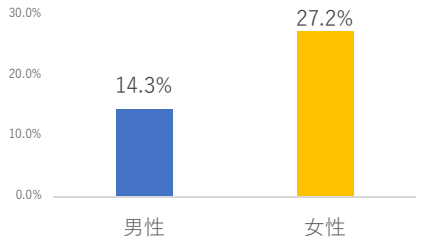


京都市：平成28年度市政総合アンケート
全　国：平成28年国民健康・栄養調査

65歳以上の高齢者の低栄養傾向の者（ＢＭＩ≦20）

平成28年度京都市国保特定健診・後期高齢者健診

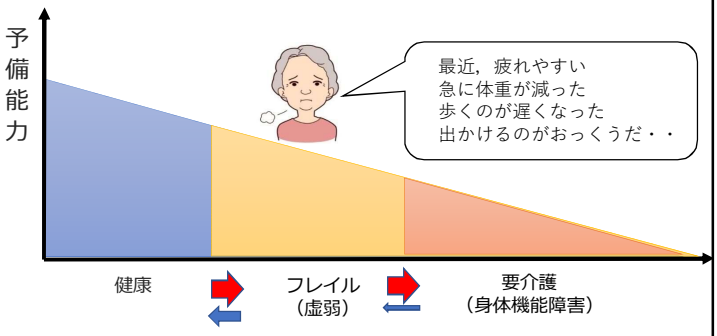
低栄養傾向の者の割合



（参考）平成28年国民健康・栄養調査
全国の65歳以上の高齢者の低栄養傾向の者（BMI≦20）の割合は，男性12.8%，女性22.0%

◆高齢女性の約3割でフレイルのリスクあり。

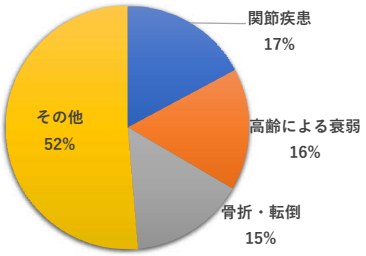
フレイルとは　健康と要介護状態との中間的な段階で，心身の機能や社会性などの虚弱がみられる状態



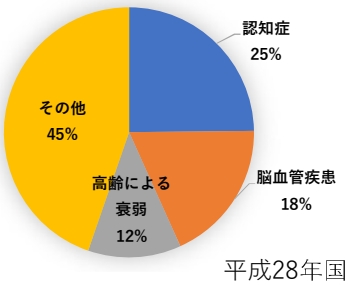
介護（2017年10月現在）

◆認定率（第１号被保険者数に占める要支援・要介護認定者数の割合）は21.7%で，全国平均17.9%を上回る。
◆年齢が高くなるほど認定率が高くなる。（85歳以上では約７割）
◆行政区別では，ひとり暮らし高齢者の割合が高いほど，認定率が高くなる傾向がある。

要支援の原因（全国）



要介護の原因（全国）



平成28年国民生活基礎調査

京都市国保加入者の医療費

（平成30年度京都市国民健康保険事業運営計画から）

- 平成28年度の１人あたり医療費（357,204円）は，全国平均と比べて1.2％，前期高齢者のみに限って比較すると11.1％上回っている。
- 政令指定都市20市の比較では，１人あたり費用額（281,624円）は8番目，人口10万人あたり病院数（7.0箇所）は8番目，同病床数（1,562.2床）は4番目である。
- 平成28年度医科分の疾患別の医療費の内訳では，生活習慣と関連が深い「循環器系の疾患」が最も高くなっている。医療費全体における生活習慣病（がんを除く）の医療費は29％，がんが16％を占めている。
- 平成28年度診療分における高額医療費について，外来1件あたり30万円以上のレセプトでは腎不全が最も多く，年間医療費は約33億円であり，次いで，がんが約22億円である。
- 平成29年5月現在の透析患者数は931人，うち新規透析患者数は164人である。新規透析患者のうち，5割以上が糖尿病，9割が高血圧を併発している。
- 平成28年度特定健診結果の分析では，高血圧未治療者のうち，24％がⅡ度以上（160以上/100以上mmHg）に相当する。また糖尿病未治療者では，22％がHbA1c 7.4%以上に相当する。

京都市の主な健康課題

	若者世代	働く・子育て世代	シニア・シルバー世代
生活習慣	20歳代で朝食欠食が増加 野菜摂取量が少ない	運動不足が多い 女性の喫煙率が全国よりやや高い	
体格	若年女性のやせ	壮年男性の肥満	高齢女性の低栄養傾向
健診・検診		特定健診・がん検診・歯科健診の受診率が低い	
健康状態		男性では50歳以降でメタボリックシンドローム増加	20歯以上の自分の歯を有する割合が少ない（70歳以上）
医療費		生活習慣病に係る医療費の総額は60歳以降で急増	外来での高額医療費は件数・額ともに腎不全が第1位
介護			介護認定率は全国を上回る
健康寿命			男性71.55歳　女性72.82歳（H28）
死亡			悪性新生物・心疾患・脳血管疾患の３大生活習慣病による死亡が全体の半数以上を占める

平成３１年度　地域における健康づくり事業
重点項目

1　糖尿病重症化予防に向けた取組
（地域における，より早期からの介入）

2　健康増進法改正に係る禁煙支援
（がん・生活習慣病予防，受動喫煙防止）

3　健診・検診の受診率向上に係る取組